

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			療育・学習・調理など、それぞれの活動に応じたスペースの確保ができています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準に基づき職員の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関の上り口に段差はあるが、介助者がいれば安全に使用できる。今後、配慮が必要な児童の受け入れがあれば、バリアフリー化に努めていきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			責任者だけではなく、ミーティングで話し合い、各課題に対して担当を決めながら取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートの結果を踏まえて、運営や支援の向上に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後実施できるよう努めます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の他に、定期的に内部研修を行い、職員の学ぶ機会を設けて支援の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童や保護者からの意向を取り入れながら相談支援事業所の支援計画に沿った計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		簡易的な行動観察シートを使い計画の立案をしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員同士で集まり、アイデアを出し合いながら活動プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないよう皆で話し合いをしながら活動プログラムの立案をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と休日では利用時間や通所する児童の顔ぶれも異なるため、活動内容や児童の組み合わせを職員で話し合いながら支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づき各児童の状況に応じた個別・集団活動を計画し作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前のミーティングにて、児童に合わせた支援を行えるよう役割分担を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		勤務時間の関係上、支援終了後に打ち合わせをすることは難しいものの、翌日の午前中にミーティングを行い情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の活動記録を用いて、ミーティングや会議等で支援の検証や改善に努めている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基準に基づき定期的な計画書の見直しを務めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動を複数組み合わせさせた活動になるよう意識をして支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		障害児相談支援事業所からの要請があれば、児童発達支援管理責任者が参画をする。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時や個別の電話連絡等で、学校との情報交換や連絡調整を適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童の通所がないものの、今後必要があれば体制を整えるよう努めていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		書面での情報提供で終わってしまう事が多く、今後は情報共有をしながら相互に理解できるよう努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在までに該当する事例が発生していない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		状況を見て機会を設けていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		不定期ではあるが、高校生ボランティアを複数名受け入れており、体育館等で一緒に活動をする機会を設けている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後は、情報共有と連携強化を図るため参加できるように努めます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や活動日誌・電話連絡・sns等で連絡をとり、課題の共有に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		送迎時やメール等で密に連絡を取り合い、困りごとや行動改善のアドバイスを行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時・必要時には説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者から相談があった際には、助言や支援を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	感染症対策として行っていない。今後、状況を見て活動を考えていきたい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には迅速に対応をし、職員間で内容を共有している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報を発行したり、SNS等で日々の活動の様子を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			利用目的を特定し、その範囲を超えて取り扱わないように徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言語療法士のアドバイスを受けながら児童や保護者とのコミュニケーション及び情報伝達に配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	感染症対策として行っていない。今後は地域の方も招待できる行事を検討していきたいと思う。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員はマニュアルを確認し、保護者の方には随時お手紙等で周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を定期的に行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在、該当する児童の利用はないが、該当する児童がいた場合は対応をしていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、該当する児童の利用はないが、該当する児童がいた場合は対応をしていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有されている。